

昭和42年度総会ならびに春季大会告示

1. 期日：5月16日（火）、17日（水）、18日（木）
2. 場所：東北大学松下記念館
3. 総会提出の議題募集
 - 1) 締切：3月6日（月）必着
 - 2) 宛名：東京都千代田区大手町 気象庁内 日本気象学会 封筒の表に「総会関係」と明記のこと
 - 3) 内容：議題名とともに必ず提案理由をつけること。
4. 研究発表募集
 - 1) 講演申込締切：3月6日（月）必着
 - 2) 申込先：東京都千代田区大手町 気象庁 予報部長期予報管理官室 根本順吉
 - 3) 様式：必ず所定の用紙に記入すること（天気本号挿入）。用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい。
 - 4) 講演時間：討論時間3分を含めて15分以内（したがって研究発表は12分以内）
5. 予稿集刊行について
 - 1) 前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿には必ず研究結果を記載すること、原則として予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は必ず提出願います。なお講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記して下さい。
予稿提出先：東京都千代田区大手町 気象庁観測部測器課 竹内清秀
期限：4月5日（水）必着（以後に到着した場合は予稿集に掲載できませんから、郵送に要する時日を考慮して早目に投稿して下さい）
 - 2) 予稿集の予約
綴込の葉書で上記竹内清秀宛必ず予約して下さい（予価200～300円）
予約締切：4月5日（水）必着
6. 大会のスケジュールや研究発表会の会場の広さ等の詳細は、本誌14巻3号でお知らせする予定です。

なお、大会では次のとおり「熱帯気象に関するシンポジウム」を行なうことに決定しました。なお熱帯気象に関する解説を天気3月号または4月号に掲載する予定です。

司会：山本義一

話題提供：柳井迪雄 熱帯気象学の問題点

浅井富雄 積雲対流および大規模運動に対するその役割

渡辺和夫 日本南方海域気象特別観測計画

お 知 ら せ

気候変動の機構に関するシンポジウム

会期：2月24日（金）9.30～17.00

会場：気象庁第1会議室

プログラムは前号に掲載したとおりです。気候変動総合研究班との共催で広い分野から展望した話題提供が予定されています。多数の会員の参加を希望します。（講演企画委員会）

月例会のお知らせ

主題：航空機の運航と気象との関連についてのシンポジウム

会 期：昭和42年3月10日（金）

会 場：東京航空地方気象台会議室

申 込 先：東京都大田区東京国際空港内 東京航空地方気象台 杉本 豊

締切期日：3月1日

昭和四十二年一月二十五日発行 毎月一回 (二十五日発行) 発行者 大田正次